

稲美町教育委員会議事録

- 1 開催日時 令和元年5月16日(木) 開会 15時00分
閉会 16時00分
- 2 開催場所 稲美町役場 305会議室

3 会議に付した事項

日程第1 諸報告

- (1) 行事・経過報告について
- (2) 5月・6月の行事予定について

日程第2 報告

報告第1号 専決したものに承認を求めることについて

専決第1号 専決処分書(稲美町通学路交通安全対策協議会委員の委嘱について)

報告第2号 専決したものに承認を求めることについて

専決第2号 専決処分書(稲美町学校統括安全衛生委員会委員の委嘱について)

日程第3 議案

議案第1号 2020年度使用教科用図書に係る稲美町教科用図書選定委員会委員の委嘱について

議案第2号 令和元年度6月補正に係る意見について

日程第4 協議

- (1) 平成31年度全国学力・学習状況調査(全国学力テスト)について
- (2) 2019年度トライやる・ウィークについて
- (3) 令和2年度稲美町立学校長及び教頭採用候補者予備選考試験の実施について
- (4) 2019年度稲美町教職員初任者研修計画について

(5) 2019年度稲美町教職員研修計画について

(6) 稲美町立小学校空調設備設置工事について

4 出席委員

教 育 長	松 尾 哲 子
委 員	西 川 征 志 郎
委 員	後 藤 哲 夫
委 員	北 口 隆 男
委 員	本 多 澄 子

5 出席職員

教育政策部長	松 田 典 浩
生涯学習担当部長兼文化の森課長	山 本 勝 也
教育課長	木 村 明 宏
管理担当課長	沼 田 弘
人権教育課長	丸 山 一 也
生涯学習担当参事兼生涯学習課長	永 田 純 子

6 開 会

教育長

委員の皆さまにおかれましては、お忙しい中、ご出席たまわり、誠にありがとうございます。ご挨拶いたします。

本日の会議は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 14 条第 3 項の規定により定足数に達しております。よって、会議が成立しておりますので、ここに開会いたします。

本日の議事日程は、お手元に配付いたしております。

次に、会議の傍聴を希望する者が 2 名ありますが、許可することとしてよろしいか。お諮りします。

委員

異議ありません。

教育長

ありがとうございます。それでは、稲美町教育委員会会議規則第 19 条の規定に基づき、許可することといたします。傍聴人は入室してください。

次は、議事録の承認です。前回定例会の議事録をお手元に配付いたしておりますが、こ

れを承認いただけますか。

各委員

異議ありません。

教育長

異議なしのお声をいただきましたので、議事録は承認されました。次は、議事録署名委員の指名です。議事録署名委員は、稲美町教育委員会会議規則第 16 条第 2 項の規程により、教育長から指名いたします。本多澄子委員にお願いいたします。

続きまして、私の方から、日程第 1、諸報告を行います。諸報告は、別紙資料の通りです。5月1日、令和の始まりに、いなみ万葉の森の歌碑の除幕式を行い、いなみ万葉の森が脚光を浴びました。

また、5月9日、10日と全国町村教育長定期総会があり、東京に行かせていただきましたが、その時の講演会や実践発表、文科省の施策の説明と、本当に有意義な2日間を送らせていただきました。中でも新井紀子氏の講演は、非常に刺激的なお話でした。新井氏は、東ロボと呼ばれる「ロボットは東大に入学できるか。」というプロジェクトを立ち上げた人なのですが、最終的には AI も、人間が数学的にデータを入れて○か×かを選択して答える機械なので、よく言われるシンギュラリティはこない、AI は人間の知能を越えることはあり得ないというようなお話でした。ただ、これからいろいろな職業が AI にとって代わられるだろうということで、半分以上が AI にとって代われ、残った半分の仕事をこなしていく人材を私たちは育てていかないといけないのだということでした。そうした中で今、教科書が読めない子どもたちが増えているのではないかと、スマホ等は、単語で操作していくので、文章に接する機会が少ないため、答えがわからないのではなくて、問題が理解できないというお話がありました。先日の全国学力学習状況調査の問題を見てみると、非常に長文なんです。問題自体はとても簡単ですが、ただ、それを最後まで読みこなせないとか、その子、あの子等の指示語が理解できていない部分での誤答が多いというようなお話を聞いてきて、今私たちが進めている、「主体的、対話的で深い学び」をより進めていって、子どもたちの学力を向上させないといけないかと痛感して帰ってきた次第です。以上で諸報告を終わります。

続きまして、各課より報告をお願いします。

教育課報告（報告内容省略）

人権教育課報告（報告内容省略）

生涯学習課報告（報告内容省略）

文化の森課報告（報告内容省略）

教育長

各課の報告について、何かご意見がございませんか。

北口委員

意見ではなく確認なのですが、特に6月の予定の中に、「トライやる・ウィーク」であるとか、自然学校だとか、学校にしてみると毎年毎年の行事ではあるわけですが、参加する児童生徒にとっては初めての体験であります。閉められた学校を離れて、まったく違った環境で1週間の生活を送ることの教育的な効果というものは、非常に大きなものがあると思います。期待できますが、お願いしたいのはやはり安全の確保であります。道中の安全、あるいは食の安全等、面倒を見てくださる事業所と連携し、怪我なく楽しく事業が終わりますように、そして子どもたちがよい思い出になりますようにお願いします。自然学校は蒸し暑い季節に実施されます。交通安全はもとより、毒蛇だとか蜂の巣等の足元の危険等も一度確認していただきたいと思います。これは、学校人としては自明のことです。十分学校で、あるいは事務局の方から安全確保についての通知はいただいていると思います。しかし、それぞれの学校が違った日程で出ていきますので、滋賀の事故等を教訓に再度確認をするという意味で学校の方に話をさせていただいて、児童にとって意義ある体験ができるようお願いしたいと思います。

もう一点は報告です。今日は天満南幼稚園のお弁当参観日でした。入園式に教育委員として参加させていただいた関係で行かせていただきました。4月に入園して2ヶ月足らずの子ども達が園でお弁当を食べる様子を見せていただきますと、先生方、非常にたいへんな状況ですが、子どもを中心にチームを組んでいただいて、小さな子ども達一人ひとりに、お弁当の広げ方、お箸の持ち方、お弁当箱を片手に持って食べるということ、しゃべりながら食べられないこと等を口をすっぱくして指導して下さっていました。子ども達が親元を離れて、集団生活の中でお弁当を食べるという初めての体験が良い体験となりますようにと、細かい指導をしていただいていることに感心をいたしました。嬉々としてお昼ご飯を食べる子ども達の顔を見て、安心をいたしました。これから暑くなって、空調を使うことでより快適な環境が整備されるわけですが、3歳児教育の事業がスムーズに展開できますように、現場からの要望がありましたら、そうした施設的なものだけでなく、できる範囲で応えていただきたいと思います。何よりも、子ども達の元気な声、がんばっている姿を目の当たりにできたことを嬉しく思い、帰ってきた次第です。

教育長

ありがとうございます。先日の園長会でも、子ども達の初めてののお弁当の時間の楽しい

エピソードが聞かれました。他に何かご意見はございませんか。

後藤委員

教育課の行事で、9、10、15日の「教員人事評価・育成システムに係る目標設定面談」についてですが、これがスタートしてからもう、十数年になります。私自身最初の2年ほど経験をした覚えがあります。それからあと、ずっと続けられているわけですが、やり方とかに変化が見られるのでしょうか。また、これが現場等でどのように役立っているのでしょうか。

木村教育課長

十数年を経て、それぞれの学校が教育目標に向けて継続的に積み上げている取組が成果となって表れています。その成果を踏まえながら、求められる教育内容にあわせて、変えなければならない時期を見て必要に応じて変えていっているという状況です。例えば稲美中学校ですと、コミュニティ・スクールの導入に合わせて学校運営の目標は大きく変わってきています。昨年度の取組をふまえて今年はずっと生徒会活動を充実させたいということで、そのあたりに重点を置いた内容になっています。また、主体的、対話的で深い学びに向けた授業改善も進めていますので、母里小学校の学校目標はまずそれがメインで進めていきます。また、天満南小学校では、プログラミング学習に取り組んでもらっていますので、プログラミング学習が前面に出ています。それぞれの学校がメインに取り組んでいく内容が、その年その年の目標に出てくるように変わっております。また、それらの取組は稲美町全体で共有していくものでありますので、そういう意識が足りない学校にはこちらから指導をして、目標設定が決まっていくといった状況です。

後藤委員

わかりました。スタートの時にはいろいろ戸惑いもあったのですが、今お聞きしますと、それぞれの学校で、年度年度での目標を明確にしてやっていく契機となっているのだなと思いました。ありがとうございました。

教育長

他に何かご意見はございませんか。

ご意見がないようですので、次は、日程第2、報告第1号 専決処分したものに承認を求めることについて、専決処分書「稲美町通学路交通安全対策協議会委員の委嘱について」と報告第2号 専決処分したものに承認を求めることについて、専決処分書「稲美町学校統括安全衛生委員会委員の委嘱について」を議題といたします。事務局から提案理由の説明を求めます。

沼田管理担当課長（資料説明省略）

木村教育課長 （資料説明省略）

教育長

このことについて、何かご意見はございませんか。

ご意見がないようですので、これより採決に入ります。報告第 1 号及び報告第 2 号は、原案のとおり承認することにご異議ございませんか。

各委員

異議ありません。

教育長

ご異議なしと認めます。よって、本 2 案は、原案のとおり承認されました。

次は、日程第 3、議案第 1 号 「2020 年度使用教科用図書選定委員会委員の委嘱について」を議題といたします。事務局から提案理由の説明を求めます。

木村教育課長 （資料説明省略）

教育長

このことについて、何かご意見はございませんか。

ご意見がないようですので、これより採決に入ります。議案第 1 号は、原案のとおり承認することにご異議ございませんか。

各委員

異議ありません。

教育長

ご異議なしと認めます。よって、本案は、原案のとおり承認されました。

次は、議案第 2 号 「令和元年度 6 月補正に係る意見について」を議題といたします。事務局から提案理由の説明を求めます。

松田部長 （資料説明省略）

山本 部長 （資料説明省略）

教育長

このことについて、何かご意見はございませんか。

ご意見がないようですので、これより採決に入ります。報告第 3 号及び報告第 4 号は、原案のとおり承認することにご異議ございませんか。

各委員

異議ありません。

教育長

ご異議なしと認めます。よって、本案は、原案のとおり承認されました。

次は、日程第 4、協議事項(1)「平成 31 年度全国学力・学習状況調査(全国学力テスト)について」と協議事項(2)「2019 年度トライやる・ウィークについて」を事務局から説明願います。

木村教育課長 (資料説明省略)

教育長

このことについて、何かご意見はございませんか。

ご意見がないようですので、協議事項(1)及び協議事項(2)の協議を終わります。

次は、協議事項(3)「令和 2 年度稲美町立学校長及び教頭採用候補者予備選考試験の実施について」と協議事項(4)「2019 年度稲美町教職員初任者研修計画について」を事務局から説明願います。

木村教育課長 (資料説明省略)

教育長

このことについて、何かご意見はございませんか。

ご意見がないようですので、協議事項(3)及び協議事項(4)の協議を終わります。

次は、協議事項(5)「2019 年度稲美町教職員研修計画について」と協議事項(6)「稲美町立小学校空調設備設置工事について」を事務局から説明願います。

木村教育課長 (資料説明省略)

沼田管理担当課長 (資料説明省略)

教育長

このことについて、何かご意見はございませんか。

西川委員

「稲美町教職員スキルアップ研修」についてです。このことについてご説明をいただきまして、だいたいはわかったのですが、例年ですとテーマを決めて、例えば昨年ですと、「特別の教科道徳の指導と評価のあり方」というテーマで研修が行われ、それが新任教諭の研修と連動してやられていたと思います。今年は新たな試みで、スキルアップ研修という、自分から手を挙げて自主的な取組を促すもので、よい結果が出ることを期待すると同時に、応募された先生方は計画をしていかれるのに大変だとは思いますが、よろしく願います。

後藤委員

私も同じく「稲美町教職員スキルアップ研修」について、積極的で意欲的な取組だなどと思っております。先生方にとっても、少し年齢が上で身近な方の指導は、本を読むとかテレビを見るとかにはない一番の栄養であり、心にしみていくのではないかと思います。経験をつんだ方のスキルが、しっかりと若い先生方に伝わっていきますように、そして稲美町の教育の質が向上するように願い、ぜひこの研修が充実したものになるようにしていただきたいと思っております。

北口委員

私も、後藤委員の発言とまったく同じ考えであります。やはり今まで研修というと、やらされる研修といった批判的な意味があったものもありますが、基本的には専門職として自分の教養を高め、指導技術を磨くという研究と修養に励む機会であり、そこに自発性というものがあってこそ実り多い研修になると思います。こういう新たな形の研修に対しては大いに賛成ですし、成果を上げていただきたいなと思っています。そこで、40歳までの教職員というのは、だいたいどれくらいいらっしゃるのでしょうか。そして、40歳以上の指導的な立場になられる方の数はどれくらいなのかを教えてくださいたいと思っております。

それと、これまでやっていた全体研修の中では、どの先生も同じテーマで勉強してきたけれど、こういう形にしたときに、特に希望がなかったり、あるいは指導的な立場になることは負担だといって抜けていったりする先生はいないのでしょうか。そのあたりは、事務局のほうでしっかりと体制を組んでいかれるとは思いますが、片や自主性を尊重し活動している、片やできない、しなくてもよいのだという風潮があつたら、これはいけません。また、テーマによって分かれるという形をとりますと、ひじょうに多くかたまる部分と少ない部分が生まれるように思います。そうすると、自発性といいながら、多すぎるところは別のところに回してもらえないかというような調整が、実施していく中で必要になってくるのではないかと、そうした時に、先生方の意欲を削がないために、どのような形をとっていかれるのでしょうか。

それから、①から⑧までの研修内容の中で、⑧の最後に等とついていますが、文書処理という、事務職員対象の研修だと思われます。そうすると、養護教諭の専門職としての研修というものも必要ではないのかと思いました。研修期間も、年間 8 回という結構時間的に大きなものになるかと思えます。指導者の問題、あるいは場所の問題、あるいは教職員の勤務時間の問題等も併せて考えていく必要があると思ったりします。

最後に、「希望者が一人でも開講する。」と書かれていますが、この姿勢を大事にしたい、私は思います。「濃密な研修を進めていく。」という意味だろうと思いますが、その辺りは抜かりなく計画をされてきているのでしょうか。ぜひ、成功を収めていただきたいと思っています。

木村教育課長

40 歳を区切りとすると、40 歳までがおおよそ 65 パーセント、それ以上が 35 パーセントくらいになります。35 パーセントの中には主幹教諭として学校の中核を担おうとする者も出てきています。そうした意欲と自分の取組を見直すために、若い先生方に対しての指導的な立場を自覚する場を提供していきたいと考えています。しっかりした実践を行っている教職員も多いのですが、町全体でそういった機会が少なかったように思います。こうした取組を続けていく中で若手もベテランも力をつけていってくれるのではないかと期待して見ていきたいと思っています。

人数の調整ですが、指導的な立場の教員だけに任すのではなく、我々教育委員会の指導主事も指導者として研修に入っていきます。また、テーマによっては複数の指導教員が連携して運営することもあるかと思えます。その中で役割分担したり伝え方を話し合ったりすることが、自分たちの力量の向上に繋がっていく可能性も考えられます。

町が一体となって、教育委員会と学校現場が協力しながら、みんなでレベルアップを目指していこうと、そういう趣旨で行っていきます。

教育長

子ども達だけでなく、教師自身も「主体的、対話的で深い学び」をしていただきたいと思っています。学ぶ方も教える方も、互いに学び合う中で指導力がアップするのではないかと考えております。現在実施しておりますグローバル意識アップ事業も自主的な研修なのですが、若い先生方がたいへん多く参加してくださっており、自ら求めて参加することで効果的に研修が進められています。この研修にも意欲的に参加してくれるのではないかと期待しております。

他にご意見はございませんか。

ご意見がないようですので、協議事項(5)及び協議事項(6)の協議を終わります。

次は、日程第 5、その他(1)「4 月分問題行動件数について」事務局から説明願います。

木村教育課長 (資料説明省略)

丸山人権教育課長 (資料説明省略)

教育長

このことについて、何かご意見はございませんか。

後藤委員

問題行動の数字については、引き続きよいスタートが切れているように思いますが、不登校の子ども達について、4月は適応教室にどれくらい来られているのか気になります。また、人数的には不登校生のうち何名くらいが来られているのでしょうか。

丸山人権教育課長

適応教室の方へは、中学生が2名、小学生が1名、合計3名が通ってきております。

後藤委員

ありがとうございます。

教育長

他に、何かご意見はございませんか。

ご意見がないようですので、次は、その他(2)「第1回稲美町社会教育委員会の報告について」とその他(3)「総務福祉文教常任委員会の報告について」を事務局から説明願います。

永田生涯学習担当参事 (資料説明省略)

木村教育課長 (資料説明省略)

沼田管理担当課長 (資料説明省略)

永田生涯学習担当参事 (資料説明省略)

教育長

このことについて、何かご意見はございませんか。

ご意見がないようですので、以上で、本日の議事はすべて終了しました。

なお、次回定例教育委員会は、6月20日(木)15:00からですので、よろしくお願いい

たします。

これで本日の会議を閉会といたします。ありがとうございました。